



令和2年度 学校経営方針概要

杉並区立杉並第九小学校
校長 岩崎 吉伸

杉並第九小学校は、本年度開校85年を迎えます。本校は、平成31年4月より地域運営学校（コミュニティ・スクール）となりました。今まで以上に、杉九小の子供たちのために、保護者、地域社会との連携・協力を推進させて、目指す教育実現のために全力で取り組んで参ります。

1 目指す学校 ・ 教育目標

目指す学校 「一人一人がよさを發揮し、活躍できる学校」
教育目標 「かしこく ゆたかに たくましく」

※自ら学び、考え、正しく判断・行動する、心身共に健康で人間性豊かな、未来を拓く児童を目指します。

2 具体的な児童の姿

- ① 「自ら学び、自ら考え、主体的に判断できる子」
- ② 「自分を大切にするとともに、他人も思いやることができる子」
- ③ 「しなやかな心とたくましい体をもつ子」

3 目標達成に向けた方針と具体策

「かしこく」 確かな学力の育成

- ◇「杉九学習モデル」に即した指導を展開し、主体的・対話的で深い学び実現に向けた授業改善を行います。
 - 自ら意欲的に取り組める「学び方」を身に付けさせます。
 - 知識・技能の確実な定着を図るとともに、日常生活で活用する機会の確保に努めます。
 - 「習得、活用、探究」の学習プロセスを踏まえた指導を進め、課題解決力を高めます。
 - 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組み、思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育てます。
- ◇学習環境を整備します。
 - 話し方、聞き方、道具の使い方等、集団で学ぶ上での必要な学習態度を身に付けさせます。「杉九スタンダード（学習のきまり）」を徹底させ、生活習慣を身に付けさせます。
- ◇『杉九家庭学習スタンダード』を保護者に提示し、家庭学習を推進します。
 - 授業や放課後補習とつながる家庭学習課題を工夫することで、既習知識を身に付け、日常生活で活用できる力とさせていきます。
- ◇地域ボランティアを活用した「放課後補習教室」を実施し、児童の学習意欲を高めながら基礎的・基本的学習内容の定着を図ります。

「ゆたかに」 豊かな人間性の育成

◇年間を通した教育活動により、「自分を大切にし、他者を大切にし、自分たちの生活を大切にする」児童を育てます。

- 「杉九スタンダード」を徹底し、児童の規範意識や実践力を育てます。
- 幼保小連携、東原中学校との協働、特別活動を中心とした「つながり」を大切にした活動を行い、児童の自己有用感を高める中で「いじめを許さない」態度や好ましい人間関係の育成に努めます。
- 思いや感動を共有する場を意図的に設定し、感動できる心、豊かな感性を育みます。
- 一人一人に存在感や満足感を味わわせ、自信をもって行動できる態度を育みます。

◇共感的児童理解を進め、一人一人を生かす指導・支援の工夫を行います。

- 一人一人の課題を的確に把握し、子供の思いや願いに沿った指導を行います。
- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制を充実させ、特別支援教室と連携して児童の心の安定を図ります。

◇地域と協働した「杉九まつり」や「もちつき」等を実施することで、児童が地域の「つながり」や「かかわり」を体験的に感じる機会とし、地域を愛する心を育みます。

「たくましく」 たくましい心と体の育成

◇体力向上を目指し、体育科指導の充実を図ります。

- 体育科指導のベーシックを確認し、校内で共有、協働することで充実した授業を展開します。

◇運動の日常化を目指し、体を動かすことが好きな子供を育てます。

- 運動委員会の取組や校内環境整備により運動の日常化を目指します。

- 外遊びを奨励し、体を動かすことが好きになる機会を多く設けます。

◇保健学習、保健指導を適切に行い、生活リズムを身に付けさせるとともに、食育により自ら健康の保持増進を図ろうとする態度を育てる健康教育を充実させます。

◇オリンピック・パラリンピック教育を通して、スポーツを楽しもうとする態度、フェアプレーの精神、ホスピタリティの姿勢を行動化する能力等の育成を図ります。